2 環境学習

県民一人ひとりが環境に関する諸問題を正しく理解し、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現・実行することこそが環境保全にとって最も重要である。当センターでは、環境保全の実践に結びつけるため、各種講座の開催など環境学習の機会の提供を行っている。令和6年度の環境学習の取組については、以下のとおりである。

2.1 彩の国環境大学

当センターでは、平成9年度から環境科学に関する知識を持った専門的な人材を育成するため、彩の国環境大学を開講している。令和6年度も、環境に関する広範囲かつ専門的な知識の習得を目的として基礎課程、実践課程を開講した。

開講期間:8月24日~11月23日 基礎課程・実践課程 各10回 受講者:25名 修了者:22名

開講式公開講座

| 開催日 | 講 義 名 | 講 師 名 |
|-------|-----------------|---------------|
| 8月24日 | 丸い地球で彩の国の環境を考える | 埼玉県環境科学国際センター |
| | | 総長 植松光夫 |

閉講式公開講座

| 開催日 | 講 義 名 | 講 師 名 |
|--------|-------------------------|---------------|
| 11月23日 | 湖沼の水質をコントロールするもの(河川でなくて | 埼玉県環境科学国際センター |
| | ゴメンナサイ) | 研究所長 今井章雄 |



開講式



閉講式公開講座

基礎課程

| 土みたかれて | | |
|--------|---------------------------|---------------|
| 開催日 | 講 義 名 | 講 師 名 |
| 8月31日 | 埼玉県の環境の現状と今後の目指す姿 | 埼玉県環境部環境政策課 |
| | ~環境保全・創造の取組~ | 技師 豊田りさ子 |
| 8月31日 | 埼玉の大気環境を知る | 埼玉県環境科学国際センター |
| | | 担当部長 佐坂公規 |
| 9月 7日 | 埼玉県における気候変動の実態と2つの対策 | 埼玉県環境科学国際センター |
| | | 担当部長 嶋田知英 |
| 9月 7日 | 災害時の地下水利用からみた地下水管理・利用施策の諸 | 埼玉県環境科学国際センター |
| | 課題 | 主任研究員 柿本貴志 |
| 9月14日 | 私たちのくらしと廃棄物 | 埼玉県環境科学国際センター |
| | ~ごみ処理の変遷と制度~ | 担当部長 長谷隆仁 |

| 開催日 | 講 義 名 | 講 師 名 |
|-------|-----------------------|---------------|
| 9月14日 | 化学物質と私たちのくらし | 埼玉県環境科学国際センター |
| | ~健康で環境にやさしい生活をおくるために~ | 担当部長 蓑毛康太郎 |
| 9月21日 | 生物多様性を考える、埼玉県の現状 | 埼玉県環境科学国際センター |
| | | 専門研究員 角田裕志 |
| 9月21日 | 川の国埼玉と里川の再生 | 埼玉県環境科学国際センター |
| | 〜地域の川と生き物たちを未来につなぐ〜 | 担当部長 木持謙 |
| 9月28日 | 環境経済学より | 大月市立大月短期大学 |
| | ~気候変動問題と経済~ | 教授 佐藤克春 |
| 9月28日 | 地球環境問題と国際協力 | 日本大学国際関係学部 |
| | | 教授 鈴木和信 |

実践課程

| 開催日 | 講 義 名 | 講 師 名 |
|--------|--------------------------|---------------------|
| 10月 5日 | 環境学習から環境まちづくりへ | NPO法人 エコ・コミュニケーションセ |
| | 学びと参加をつなげひろげるコーディネーターの役割 | ンター |
| | | 代表 森良 |
| 10月12日 | 環境学習プログラムをデザインする | 学びの広場 |
| | 環境学習プログラムをデザインする(演習) | 代表 小川達己 |
| 10月19日 | 生物多様性の保全について | 埼玉県自然学習センター |
| | 自然のしくみを知る(実地演習) | 自然学習指導員チーフ 高野徹 |
| 10月26日 | 事例研究 | NPO法人 宮代水と緑のネットワーク |
| | 危機感が生んだ都市住民を取り込む活動手法について | 代表理事 茂木俊二 |
| 10月26日 | 2030SDGsカードゲーム体験 | 合同会社シナプス |
| | | 代表 竹元紳一郎 |
| 11月 2日 | SDGsを環境から考える | 認定NPO法人 環境ネットワーク埼玉 |
| | 環境リテラシーを考える | 代表理事 星野弘志 |
| | | |

2.2 公開講座

彩の国環境大学修了者フォローアップ講座をはじめ、センター施設を活用した生態園体験教室、県民実験教室 を開催した。

| 講 座 名 | 開催日 | テーマ等 | 参加者 |
|-----------------|-------|----------------------|-----|
| ①彩の国環境大学修了者フォロー | 令和7年 | 講演 | 34名 |
| アップ講座 | 1月25日 | 「みずすましからリバサポへ」埼玉県の豊か | |
| 環境保全活動や環境学習活動 | | な川づくり」 | |
| を行う彩の国環境大学修了者を | | 埼玉県環境科学国際センター | |
| 支援するため開催している。 | | センター長 酒井 辰夫 | |
| | | 「米の高温障害対策 | |
| | | ~より良い米作りに向けて~」 | |
| | | 彩の国環境大学修了生の会 加藤 清 | |

| 講 座 名 | 開催日 | テーマ等 | 参加者 |
|--|-------------|--|---------------|
| ②生態園体験教室 | 令和6年 | , | 2 7H L |
| 生態園における観察会や野外 | 4月28日 | ゴールデンウィーク特別企画 「親子で楽し | 29名 |
| 活動を通して身近な環境のしく | | む春の生態園探検 | |
| みの理解や自然と生活との共生 | 5月 3日 | ゴールデンウィーク特別企画 「春の生態園 | 18名 |
| のあり方における自然環境保護 | | でネイチャーゲーム~五感で自然を楽しも | |
| 意識の向上を図るため開催して | | う~」 | |
| いる。 | 8月 3日 | 夏休み特別企画「森からの贈り物:間伐材ア | 46名 |
| | 0 🗆 1 👨 🖂 | ートフレーム講座」 | 4.4.77 |
| A STATE OF THE STA | 8月17日 | 夏休み特別企画「昆虫標本を作ってみよう」 | 44名 |
| | 11月14日 | 県民の日特別企画「自然観察会 見てみよう 感じてみよう 秋の生態園」 | 33名 |
| Area and the | 11月14日 | 窓してみょう 秋の主思園」 県民の日特別企画「ネイチャークラフト〜ど | 231名 |
| | 11/1141 | | 2314 |
| | | 70 () 411] | |
| | | | |
| | | | |
| ③県民実験教室 | 令和6年 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | = |
| 簡易な科学実験やリサイクル | 4月27日 | ゴールデンウィー ク特別企画「光と鏡の科 | 74名 |
| 工作を通して環境保全意識の向 | 4 🗏 20 🖂 | 学-3D(立方体)万華鏡をつくろう」 | (0 <i>t</i> 7 |
| 上を図るため開催している。 | 4月29日 | ゴールデンウィーク特別企画「空気の秘密大 実験 吹きゴマUFOに挑戦! | 68名 |
| | 5月 4日 | 天殿・穴さコャロFOに抗戦:」 ゴールデンウィーク特別企画「錯覚で学ぶ脳 | 65名 |
| The state of the s | 2)1 4日 | つ パノンティーテト別が正画「蛆兒で干が脳 のはたらき | 03/1 |
| | 5月 5日 | ゴールデンウィーク特別企画「アートクレイ | 60名 |
| | - 7,4 | シルバー(銀粘土)で世界に一つだけのアク | |
| | | セサリーを作ろう」 | |
| | 5月 5日 | ゴールデンウィーク特別企画「苔(コケ)の | 26名 |
| L The | | インテリア「コケリウム」をつくろう」 | |
| | 7月20日 | 夏休み特別企画「サイエンスショー - | 126名 |
| | | 196℃の世界」 | |
| | 7月21日 | 夏休み特別企画「カードゲームで深める川の | 40名 |
| | E 0 0 E 0 | 生き物で水のよごれ調べ」 | 40.5 |
| | 7月27日 | 夏休み特別企画「自由研究なんでも相談室- | 18名 |
| | | 研究員がキミの自由研究を全力でサポート します- | |
| | 7月28日 | しょゥ-」 夏休み特別企画「ガリレオ温度計のひみつ」 | 65名 |
| | 7月28日 | 夏休み特別企画「カッレオ温及前のじみつ」 夏休み特別企画「体験!雲の上の実験室~富 | 55名 55名 |
| | 1,1011 | 士山頂では何が起きる? | 00 1 |
| | 8月 2日 | リアル体験教室「水を分析する環境博士にな | 78名 |
| | | りたい」 | |
| | 8月 4日 | 夏休み特別企画「暑いサイタマから身を守 | 28名 |
| | _ | る!科学的な暑さの対策を一緒に学ぼう-」 | |
| | 8月 6日 | 夏休み特別企画「体験!大気汚染を目で見て | 44名 |
| | Q FI 1 A FI | みよう」 夏休み特別企画「ドライアイスで遊ぼう-モ | 46名 |
| | 8月10日 | 夏怀み付別企画 トノイナイスで遊ばり モー クモクとブクブクのひみつ | 40石 |
| | 8月11日 | フセクピノノノクのじゅつ。 夏休み特別企画「「音」と遊ぼう-エコーマイ | 59名 |
| | 0/3111 | クを作ろう- | O / L |
| | 8月18日 | 夏休み特別企画 「溶けない氷の結晶でスノ | 38名 |
| | | ードームを作ってみよう」 | |

| 講 座 名 | 開催日 | テーマ等 | 参加者 |
|--------------|--------|-------------------------|------|
| ③県民実験教室(つづき) | 9月14日 | シルバーウィーク特別企画「藍染の魅力:ハ | 40名 |
| | | ンカチ染め体験」 | |
| | 9月15日 | シルバーウィーク特別企画「廃油からリサイ | 18名 |
| | | クル石けんをつくってみよう」 | |
| | 9月23日 | シルバーウィーク特別企画 「アートクレイ | 67名 |
| | | シルバー(銀粘土)でボタニカルな純銀チャ | |
| | | ームを作ろう」 | |
| | 11月14日 | 県民の日特別企画 「サイエンスショー 電気 | 136名 |
| | | を運ぶものの正体を実験でさぐる」 | |
| | 令和7年 | | |
| | 1月19日 | 県民実験教室「みんなでやれば怖くない!ガ | 117名 |
| | | マの穂の種子を数える できるところまでや | |
| | | ってみよう!」 | |
| | 2月22日 | KAZOフェス2025サイエンスショー「化学反 | 523名 |
| | | 応!!」 | |

(29講座、計2,226名)

2.3 身近な環境観察局ネットワーク

環境に関心がある県内の個人や団体に、簡易な環境調査法の学習・調査報告・情報交換の機会を設けることにより、環境保全活動の推進や観察局同士のネットワーク形成を図っている。

観察局数:109局(令和7年3月31日現在)。

身近な環境観察局では、光化学オキシダントのアサガオへの被害状況と特定外来害虫であるクビアカツヤカミキリの調査を行っている。令和6年度はゴールデンウィーク特別企画の中に組み入れ、「GW特別プロジェクト CESSの調査に参加しませんか?」の企画として、説明会と活動成果発表会を実施した。

2.4 研究施設公開

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日に研究施設の一般公開を行った。

| 開催日 | | 内 容 | 参加者 |
|-------|--------------|----------------------------|------|
| 5月: | 5日 ゴールデンウィーク | 普段非公開の研究施設を特別に公開し、研究員が解説や実 | 193名 |
| 11月14 | 日 県民の日 | 演を行った。 | 278名 |

2.5 イベント参加

他機関や団体等のイベントに参加し、ポスター展示やチラシなどにより環境学習活動のPRを行った。

| 開催日 | イベント名 | 場 所 | 参加者 |
|----------|--------------------------|----------------|--------|
| 令和6年 | | | |
| 5月 3日 | よしみ環境フェア | フレサ吉見(吉見町) | 300名 |
| 9月21日 | SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティ | AGEO PARK(上尾市) | 400名 |
| | バル | | |
| 10月 5-6日 | Act Green ECO Week 2024 | イオンレイクタウン(越谷市) | 7,200名 |
| 10月 6日 | 渡良瀬遊水地まつり in KAZO | 渡良瀬遊水地 (加須市) | 540名 |
| 10月27日 | こうのとりマルシェ | コウノトリ野生復帰センター | 500名 |
| | | 「天空の里」(鴻巣市) | |
| 11月 3日 | 武蔵野里山マルシェ | マツザキ中福店里山(川越市) | 600名 |
| 11月14日 | 県民の日「県庁オープンデー」 | 埼玉県庁(さいたま市) | 1,921名 |
| 令和7年 | | | |
| 1月25日 | 鴻巣市SDGsフェスティバル | 鴻巣市文化センター(クレアこ | 592名 |
| | | うのす)(鴻巣市) | |
| 3月23日 | こうのとりマルシェ | コウノトリ野生復帰センター | 150名 |
| | | 「天空の里」(鴻巣市) | |

2.6 その他 (再掲を含む)

ゴールデンウィーク、夏休み、シルバーウィーク、県民の日に各種イベントを実施した。

| イベント名 | 開催日 | - ク、県氏の日に各種イベントを美施した。 内容 | 備考 |
|---------------|---------------------|--|----------------|
| ゴールデンウィーク特別企画 | 4月27日 ~ 5月 6日 | 研究所公開 光と鏡の科学-3D(立方体)万華鏡をつくろう 親子で楽しむ春の生態園探検 空気の秘密大実験 吹きゴマUFOに挑戦! 春の生態園でネイチャーゲーム~五感で自然を楽しもう~ 錯覚で学ぶ脳のはたらき お花メダルをつくってみよう エコドライブシミュレーターゲームを体験しよう アートクレイシルバー(銀粘土)で世界に一つだけのアクセサリーを作ろう 苔(コケ)のインテリア 「コケリウム」をつくろう ミニ上映会 ほか | 参加者延 1,677名 |
| 夏休み特別企画 | 7月20日 ~ 8月18日 | ・研究所公開 ・サイエンスショー -196℃の世界 ・カードゲームで深める川の生き物で水のよご れ調べ ・自由研究なんでも相談室 - 研究員がキミの自 由研究を全力でサポートします - ・ガリレオ温度計のひみつ ・体験!雲の上の実験室~富士山頂では何が起 きる? ・森からの贈り物:間伐材アートフレーム講座 ・暑いサイタマから身を守る - 科学的な暑さの 対策を一緒に学ぼう ・大気汚染を目で見てみよう ・ドライアイスで遊ぼう - モクモクとブクブク のひみつ ・「音」と遊ぼう - エコーマイクを作ろう - ・昆虫標本を作ってみよう ・溶けない氷の結晶でスノードームを作ってみ よう ・ミニ上映会 ほか | 参加者延 1,903名 |
| シルバーウィーク特別企画 | 9月14日 ~ 9月23日 | ・藍染の魅力:ハンカチ染め体験 ・廃油からリサイクル石けんをつくってみよう ・水族館からお魚たちがやってくる! ・アートクレイシルバー(銀粘土)でボタニカル な純銀チャームを作ろう ・ミニ上映会 ほか | 参加者延 1,295名 |
| 県民の日特別企画 | 11月14日 | ・研究所公開 ・サイエンスショー「電気を運ぶものの正体を実験でさぐる」 ・自然観察会「見てみよう感じてみよう 秋の生態園」 ・ミニ上映会 ほか | 参加者延 1,337名 |

(計6,212名)

2.7 インターンシップ・職場体験の受入れ

大学生のインターンシップ、地元中学生の職場体験を受け入れた。

インターンシップ (2件、3名)

| 受入日 | 人数 | 受入担当名 | 内 容 |
|--------------|----|------------|----------------|
| 8月27日~ 8月30日 | 1名 | 水環境担当 | 水環境に関する研究の補助 |
| 9月11日~ 9月22日 | 2名 | 総務・学習・情報担当 | 展示館・生態園運営、環境学習 |

職場体験 (2件、6名)

| 受入日 | 人数 | 受入担当名 | 内 容 |
|---------------|----|------------|-----------------|
| 6月12日~ 6月14日 | 3名 | 総務・学習・情報担当 | 展示館案内業務、生態園管理作業 |
| 11月28日~11月29日 | 3名 | 総務・学習・情報担当 | 展示館案内業務、生態園管理作業 |